



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 274
January
2016

トピックス

謹賀新年

センター長 濱田政則

ADRC客員研究員 レポート

チャトゥラ・リヤナラ
チッチ
(スリランカ)

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2016



謹 賀 新 年

あけましておめでとうございます。

旧年中、アジア防災センターの活動の進展のために寄せられた関連機関並びに関係者の方々の御支援に改めて感謝申し上げます。

昨年も、自然災害が我が国のみならず世界的に多発した1年でありました。地球規模の気候変動に起因していると考えられる集中豪雨、巨大台風やサイクロン、洪水、地すべり等により多くの人命と膨大な財産が失われました。特にアジア地域における自然災害の増大がますます顕著になっています。アジア防災センターが果すべき役割が一段と大きく、重くなってきていることを実感しております。

昨年3月に、国連による防災世界会議が仙台市で開催され、187の国連加盟国が参加して、災害リスク理解の促進、災害リスクガバナンスとマネジメントの強化、リスク軽減への投資、災害後の効果的対応とより良い復興、の4行動原則を仙台枠組(2015~2030)として採択しました。これらの枠組をアジア地域において実践していくため、アジア防災センターが主導的な活動を展開しなければならないと考えています。

アジア防災センターは、兵庫県南部地震後の1998年に設立されて以来、間もなく、20年の活動の区切りを迎えることとなります。新たな20年を見据えた活動のあり方、および行動戦略の策定など、取り組むべき課題が多く残されています。

アジア地域の人々の安全と安心を護るために、アジア防災センターが中心的役割を果すべく、職員一同最大限の努力を傾注する所存です。宜しく本年も御支援のほどお願い申し上げます。



アジア防災センター センター長 濱田 政則

●ADRC客員研究員レポート

チャトゥラ・リヤナラチッチ (スリランカ)

はじめまして。私はスリランカから来ましたチャトゥラと申します。母国スリランカでは、防災人権省防災センターで働いています。防災人権省

における私の活動としましては、他の関係機関との連携強化のため、例えば水資源にかかる国家委員会、災害管理計画の策定、国民の安全を守る国家委員会など、各種組織運営の調整担当を対応しています。

スリランカにおきましては、過去30年間において様々な種類の自然災害が発生してきました。さらに今後におきましても、洪水、干ばつ、地滑り、サイクロンなどの大規模災害の発生と甚大な被害が危惧されています。皆様の記憶に大きく残ってる災害としては、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震だと思えます。スリランカも被災国のひとつとして、大きな被害が生じました。

次に、スリランカにおける防災に関する法律や組織について説明いたします。スリランカにおいては、2005年5月に防災法が策定されました。この法律に従い、スリランカ国内において防災の最高意思決定の機能を有する国家防災委員会が設置され、さらに、防災に係る様々な活動を実際に管理運営し、他機関をけん引する重要な役割を担う防災人権省防災センター（DMC: Disaster Management Center）が設立されました。この、私が所属する防災人権省防災センターは、スリランカ国内の防災力向上のため、毎年様々な防災活動を実践しています。

最後に、お礼としまして、今回の客員研究員の機会を与えて頂いたスリランカとADRCに感謝述べたいと思います。滞在中は、日本が有する知見や経験を学び、スリランカ国における防災法に係るガイドライン等の検討をしたいと思えます。日本は世界でも有数の災害多発国で、災害前の予防、災害直後の対応等、全ての局面で効果的な防災対策が講じられていると思えます。このようなことから、今後もDMCとADRCが連携し、お互いの国の防災に関する情報を共有することが大切であると思えます。滞在期間中、多くの知識を得ることに尽力し、改めて皆様にお礼を申し上げます。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。